

新故しきを温ねて知る

郷土が誇る芸能大会

今回10回目を迎える「郷土が誇る芸能大会」は、各地区の連合自治会から推薦された伝統芸能はもちろん、地域の絆を深めるためにこれから育てていく歌や踊りなどの団体が一堂に会して、披露しあう大会です。四日市の文化の魅力を再発見し、体感できます。今回は、過去9回の大会に出演した団体の中から、指定文化財の保存継承団体を紹介します。今回紹介した以外にもまだまだ多くの郷土の芸能があります。改めて地域を見詰め直し、郷土の絆を確かめるきっかけにしてみませんか。



たつきか 立阪神社獅子保存会(大矢知地区)

立阪神社の獅子舞は、弘化元年(1844年)に垂坂の麴組合が他の麴組合との間に起こった訴訟に勝訴したことを祝って奉納したことが起源とされています。立阪神社の大祭では、神社への奉納に加え、氏子各戸を回ります。また、伊勢神宮への奉納や地域行事への出演など、幅広く活動しています。



富田石取祭三車連合会(富田地区)

富田地区では、旧名称の北村、茂福、富田西町の3町で石取祭を行っています。3町の強固な結束により、積極的に行事の保存継承が行われ、平成23年には「富田の石取祭」として市の指定無形民俗文化財になりました。

ししまい 市場町獅子舞保存会(保々地区)

昭和49年に市の指定無形民俗文化財になった市場町の獅子舞の起源は古く、室町時代の康正年間(1455~1457年)に遡ります。その後、明治期になって、舞の作法を現在の山之色町から習ったと伝えられています。



お諏訪踊り保存会(水沢地区)

お諏訪踊り保存会は、毎年7月31日に足見神社の「水まつり」で市指定無形民俗文化財の「お諏訪おどり」を奉納しています。このお諏訪おどりは、花かさをかぶり、締め太鼓を担いだ踊り手が勇壮に舞うもので、300年ほど前から水沢の地で今に受け継ぐ伝統芸能です。中でも「お庭おどり」は、三本松町と西條町で、隔年交互で8月14日に開催されているお盆行事で、先祖供養のための弔いおどりとして奉納しています。おどりの形態はお諏訪おどりと同じですが、歌詞の内容は、昔を偲び、古き生活の様子を今に伝える、趣深いものになっています。



つばきし 椿岸神社獅子舞保存会(桜地区)

椿岸神社の獅子舞は、鈴鹿市にある椿大神社の山本流獅子舞と関係が深く、姉妹獅子といわれています。昭和59年に保存会を設立し、平成4年には獅子舞が市指定無形民俗文化財に、また、平成5年には獅子頭が市指定有形民俗文化財になりました。毎年10月の椿岸神社の秋祭りに獅子舞を奉納し、また、昭和63年から大四日市まつりにも出演しています。



みたち 御館獅子舞保存会(三重地区)

市の指定無形民俗文化財である御館獅子舞は、天武天皇が治世していた7世紀ごろ、江田神社に獅子頭が奉納されたことが始まりと伝えられています。地区の男児・男性が保存会のメンバーとなり、保存継承活動に努め、地区の文化祭行事や「大四日市まつり」への参加、伊勢神宮への奉納舞などの活動をしています。平成2年には、四日市市と中国・天津市との友好都市提携10周年記念事業で、天津市代表団に獅子舞を披露したこともあります。



くしらぶね 南納屋町鯨船保存会(港地区)

県指定有形民俗文化財である鯨船山車「明神丸」を保存し、鯨船神事の保存・継承に努めています。年に1回、四日市祭に奉納演技をし、町内・市内で勇壮な練りを披露しています。



南浜田舞獅子保存会(浜田地区)

平成20年度に「浜田大山車の舞獅子」として、浜田舞獅子保存会(中浜田町)とともに市指定無形民俗文化財になりました。四日市祭や地域の行事に積極的に参加し、伝統文化の継承と保存に努めています。



日永つんつくおどり保存会(日永地区)

昭和31年に市の指定無形民俗文化財になった日永つんつくおどりは、笛・太鼓のお囃子と歌謡に合わせて「地突き・地固め」の動作を行う、郷土色豊かなゆったりとした踊りです。東海道筋で踊るイベントを行うなど、次代へつなぐ取り組みも行っています。



第10回郷土が誇る芸能大会

時 1月16日(土) 13:00~16:00(12:30開場)
 所 文化会館第2ホール
 ●協力: 四日市市自治会連合会
 ●司会進行: 藤田倫子
 ●解説: 前田憲司
 ※出演団体およびスケジュールは右のとおり

時間	地区名	団体名(敬称略)
13:05	川島	かわしまさくら太鼓
13:25	桜	琴伝流 琴桜会
13:45	県	あがた音頭保存会
14:05	三重	fancy&sunny
14:25	日永	アロハサークル プアレファ
14:45	河原田	河原田踊り同好会
15:05	水沢	お諏訪踊り保存会
15:25	特別演奏(ビデオ出演) 友好都市中国天津市	天津工業大学 芸縁民族楽団

●この記事についてのお問い合わせ・ご意見は

文化振興課 ☎354-8239 FAX354-4873